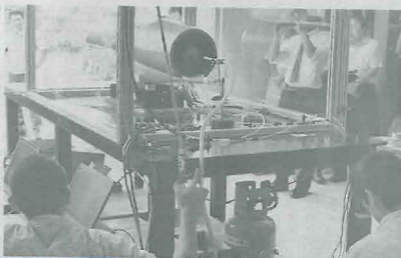


# 公開初運転をジェットエンジン 静音性アピール

新潟

無人飛行機用ジェットエンジンを共同開発する県内の製造各社と研究機関が25日、主要メンバーのYSSEC新潟巻工場（新潟市西蒲区）で関係者に試運転を初公開し



た。組み立てたエンジンの出力を2万回転までの出力を2万回転まで上げ、特長である静音性をアピールした。

エンジンの大きさは、長さ約1尺、直径約30センチ。海外製品よりも軽くて強く静かなエンジンを目指している。

合金を使用し、削るのが難しいインコネルなどの耐熱合金を精密加工した。6月のパリ航空ショー

県内の製造各社が共同開発する無人飛行機用ジェットエンジンの試運転。25日、新潟市西蒲区のYSSEC新潟巻工場

では部品と試作品を展示し、多くの航空関係者の関心を集めたが、今回は初めて稼働する様子を公開した。出力2万回転で噴射熱の温度や音、燃料効率などを測定。海外メーカの製品と音の違いを聞き比べた。

今後は出力を10万回転まで上げて実験を重

ね、燃費と耐熱性、信頼性を高める。YSSEC開発室長の阿部和幸さん(40)は「2万回転は車のいえはアイドリングの状態で、現時点での完成度は5割を超えた程度。1年以内には製品学、産業技術総合研究所（茨城県）で構成、事業

管理をいがた産業創造機構（新潟市中央区）が行い、アドバイザーとして県工業技術総合研究所（同）、JASPA（横浜市、新潟市が参加する。